

2020年の事業報告書

2020年1月1日から2020年12月31日まで

一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク

1 事業の成果

(1) おきなわ子どもみらいポケット（特別養子縁組斡旋事業）

・2020年2月2日、本法人にとって初めて養子縁組前提の子どもが誕生し、その後3月、4月と立て続けに養子縁組希望の赤ちゃんが誕生した。しかし、いずれも出産間際の急な特別養子縁組依頼であり、そのため養親希望者探しが大変であった。しかし、幸い里親登録者が二人いたため、急な依頼にも拘わらず、快く受け入れ無事養親希望者に委託することができた。また新たな養親希望者への個別面接、家庭訪問等コロナウィルスのため、支障をきたしたが、途中からウェブ研修も織り交ぜながら、10組余の養親希望者が新たに誕生した。その後、養親希望者からの問い合わせは後を絶たないが、面接ができずに20組ほど待機して貰っている。

2020年12月に予定していた県外から講師を招いての特別養子縁組の講演会はコロナウィルスの影響を受け実施できなかった。

(2) 若年妊娠 SOS 沖縄事業は2年目を迎え、順調にスタートをきった。事業開始後間もなくコロナウィルスが発生し、相談の増加が心配されたが、特に大幅に増えるということにはなかった。また、今年新たにサポーターが9名誕生した。その後全体のサポーター研修を7月と10月、2月全3回実施したが離島からのサポーターがコロナウィルスのため参加を見合わせる者がでた。今年もより多くの若年女子へ本事業の周知をするために自治体、学校等はもとより、A&W, カラオケボックス、コンビニ等企業へチラシの配布依頼を行った。また昨年の事業報告書を県議会議員へ配布したところ、県議会から参考人として招致され、若年にんしん SOS 事業の紹介とその必要性を訴えることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 養子縁組斡旋事業に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
おきなわ子どもみらいポケット (特別養子縁組斡旋事業)	・相談事業開始（ホームページ・チラシ等で周知）	2020年1月～12月	法人事業所	4～5名	一般県民	200
	・養子縁組事業開始（産婦人科病院、実母、養親希望者、関係機関訪問）	2020年1月～随時	那覇・中部管内	4名	実母・養親希望者等	200
	・養親希望者支援事業（面接・調査・家庭訪問等）	2020年1月～随時	県内全域	4名	養親希望者	2,000

・養親希望者研修事業 (随時)	2020年 1月～ 随時	読谷村 糸満市	約5名	養親希望者 2組ずつ6回 実施	600
・関係機関との連絡会議	2020年 7月～ 随時	県内全 域	約5名	児童相談所 市町村・産科 医療機関等	200

(2) 若年妊娠 SOS 沖縄に係る事業

事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
若年にんし んSOS沖縄	・若年にんしんSOSライン 相談事業(365日)	1日: 2時間	読谷村	3名	県内全域	610
	・サポーター新任研修 ・若年妊娠SOSサポーター 研修事業(年3回)	H31年 6月,7月 11月, 3月	読谷村	約5名	サポーター 68名参加	680
	・妊娠検査薬配布事業 (随時)	H31年 5月～	県内全域	約20名	19名	115
	・産婦人科病院同行事業 (随時)	H31年 5月～	県内全域	約20名	17名	150
	・関係機関連絡会議 (年3回、3カ所)	随時	・沖縄本 島内	約5名	関係者	120